



▲平成31年2月17日 卒寮生壮行会の前に撮影

平成31年3月、南豫明倫館から3人が旅立った。同郷の仲間たちと別れ、希望あふれる新生活がスタートした。しかし、社会には陰路も待ち受ける。逃げることなく敢然と立ち向かってほしい。

2月17日には南豫奨学会が卒寮生壮行会を開き、卒寮生を激励した。後輩には「何にでも興味を持って挑戦を」との言葉を送った。



卒寮生の言葉

希望あふれる社会に旅立ち 31年3月「活躍を」3人が別れ

卒寮生氏名 (大学・学部・出身地)

1 進路 将来の抱負 2 後輩への助言

新口 雄大 (日本大学・経済学部・八幡浜市)

未定

1 愛媛県に帰り、農業に携わりみかんを栽培・販売し、八幡浜市を活性化していきたいと思う。実家である新口農園株式会社を今以上に成長させていきたい。

2 この南豫明倫館は、社会勉強ができる寮です。上下関係や同級生と良い関係を持つと、楽しく過ごせていけると思います。また、学生時代は、たくさん遊んで下さい。

加世田 将義 (芝浦工業大学・工学部・松山市)

東京水産サービス(株)

1 当たり前のことが当たり前のようにできる社会人になり、社会貢献に積極的に関与していきたい。

2 一人暮らしの中で経験することができないようなことを寮生活では経験することができると思っているので、ぜひとも多くのことに挑戦してもらいたい。

中野 竜太郎 (早稲田大学・文化構想学部・内子町) 進学

1 今までずっと多くの人に支えられてここまでやってこられました。私も将来は、多くの人を支えられるような仕事や生き方を全うしたいと考えています。

2 理想とは程遠くても、今の自分自身を受け入れ、認め、愛してあげてください。その上で

何かしら、無条件で愛せるような対象が見つかる。充実した学生生活が送れると思う。

規律を守り緊張感を持つ

前自治会委員長 黒田 悠介

私は二〇一八年の十一月から自治会委員長に就任し、六カ月間の任期を無事全うすることができた。自治会の運営に協力してくれた寮生に感謝したい。

南豫明倫館は、この数年多くの入寮生に恵まれ、一年生、二年生で全寮生の過半数を占めた。その結果、数年前よりも寮生の人数が増え、寮内が活気づいている。また、寮生同士とても仲が良く、花見や寮祭などのイベントのみならず日常の寮生活においても、積極的に交流し合い、親睦を深めている。

寮生同士が仲良く、楽しく寮生活を送れるようになってきているのは良い傾向である。しかし、ここ最近寮生活から緊張感が失われているらしいがある。寮生活は集団生活であり、他人に気を使い合い、規律を守って生活することが求められる。この意識が近年失われつつあるように感じる。緊張感が完全に失われると、寮内がカオスな状況になりかねない。そうならないためにも集団生活であることを再認識し、より一層緊張感を持って生活していきたい。

また、この寮生活で得られた仲間との関係は卒寮と共になくなるものではなく、一生続く関係である。しかし近年、卒寮とともにぱったりと関係が無くなる卒寮生が多いと聞く。私ももうすぐ卒寮の時を迎える(予定である)が、この寮生活で

得られた先輩や後輩そして同期の仲間との関係を大切にしていきたい。

そして、四年間生活させていただいた寮に対しても感謝の気持ちを忘れずに持っていきたい。お金が稼げるようになった時には一旦三十万円貯金し、一年間で一万円寄付することを目標に頑張っていきたいと思う。

明治時代から続く明倫館を令和、そしてその後の時代へと存続させていくためにも、残りの寮生活は秩序を守って生活し、卒寮後は寮に対する想いを持って生活していきたい。

(明治大学四年)



小金井の町内会が 宇和島市に義援金

南豫明倫館のある小金井市中町四丁目の町内会組織「小金井市なかよ町会」(田中兄一会長、約三百世帯)が平成三十年十一月一日、「夏の西日本豪雨で大きな災害を受けた宇和島市の復興に役立ててほしい」と義援金十五万五千円を明倫館に預託した。戸梶學館長が受け取り、岡原文彰宇和島市長に送付した。

田中会長は「三十二年前に東京・上目黒からこの地に移転して以来、町内会の一員として交流してきた。被災地の惨状を目にして、人ごとではないと思った。町会の役員会で支援の取り組みを決め、各世帯に一口五百円の協力を呼び掛けた」と話した。

戸梶館長は「普段いろいろ近隣に迷惑を掛けることもあるのに、皆様のお気持ちは大変ありがたい」と感謝した。

南豫明倫館での
共同生活を振り返って

南豫奨学会理事 藤田 元信

父の勧めで、私が小金井にある南豫明倫館の寮生となったのは、平成九年（一九九七年）の春のことでした。愛光学園でも寮生活をしておりましたが、南豫明倫館での共同生活は、想像していたものと大きく異なり、まるで中学の部活のような先輩と後輩の上下関係、共用部分の掃除当番など、上目黒時代から脈々と引き継がれていた伝統や慣習に初めは戸惑ったことを覚えています。

南豫明倫館での共同生活は、予想とは異なるスタートでしたが、個性豊かな先輩や後輩のおかげで、徐々に快適なものになっていきました。例えば、インターネットの利用は固定電話を使ったダイヤルアップ接続が主流だった頃、有志を募り、専用線による常時接続を実現したことをはじめ、井上主事（当時）や理事会の理解を得て、情報通信環境の整備に取り組んだことは特に良い思い出です。

卒寮から二十年近くが過ぎた今、当時を振り返ってみると、南豫明倫館での共同生活で私が得た最大の財産は、「多様な価値観に触れたこと」だったように思います。私は現在、国家公務員として、省内外の様々な立場、年代の方と接しています。異なる背景や価値観をもつ人々と良好な関係を築き、施策を前進させるためには、自分が正しいと思う考えを押し通すことではなく、相手の立場を尊重し、百％とは言わないまでも、双方が納得できる「落としどころ」を見つけることが重要です。こうし

た考え方を育むきっかけが、南豫明倫館での共同生活だったかもしれない、と今では考えています。

もしかすると、在寮生の中にも、共同生活を煩わしい、と感じている方がいるかもしれません。短期的に見れば、共同生活に何のメリットがあるのか分からない、と思う方もいるでしょうし、一人暮らしへの憧れもあることでしょう。しかし、共同生活は、多様性を受け入れ、お互いを尊重し合うことで、快適で有意義なものになります。南豫明倫館での共同生活で培う様々な経験が、多くの寮生の将来にとってかけがえのない財産となることを祈念しています。

（平成十三年三月卒寮）



平成30年度に寄付をいただいた方々

（平成30年4月1日～31年3月31日）

敬称略・寄付日付順

本田 裕幸	和田 慎二	瀬戸 和子
中島 仲義	加世田 学	菊池 重紘
入江 伸明	高辻 元	田中 公興
芝 壽志	藤田 元信	藤田 武博
岡本 健	山中 真弥	赤松 志朗
荒張紀久子	酒井 利長	玉井 頼子
上口 等	岡添 弘	竹田 重仁
上田 城生	宇都宮高明	山田 英次
三浦 成毅	テレビ愛媛	渡辺 英雄
清家 學	八十島温夫	栗林 秀典
新津 昌雄	湖西 成仁	古谷 和重
松影 通男	栗山 一則	大谷 勝俊
横山 敏彦	中野 稔	山瀬 達郎
石田 則雄	宇都宮栄治	増原 恵輔
伊藤 健二	愛媛新聞社	梅田 友男
山宮 満安	猪原 英彦	鈴木 泰三
朝井 達也	宇和島市役所	西村 春海
高瀬 東	中川 和美	矢野 順二
本田 裕幸	佐藤 正知	横田 弘之
石山 豊城	伊予銀行	松本 学
今村 敬	佐渡 吉晴	岡山 三治
河野 秀康	渡辺 昭	藤田 和仁
廣瀬 益久	平林 吉彦	神應 善宣
別宮 興仁	原田 雅仁	児玉 雅人
伊達 宗信	浅田 勇介	戸梶 學
坂本 昭彦	菊池 文孝	安村 弘紀
新津 昭雄	横山 和郎	廣瀬 了



公益財団法人 南豫奨学会 「奨学金支援会」だより
ご寄付いただいたお礼とご報告

公益財団法人南豫奨学会・奨学金支援会
理事長・会長 伊達 宗信

平素は皆様方には公益財団法人南豫奨学会と南豫明倫館の運営にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、南豫奨学会の平成三十年度の「奨学金支援会」には、三十一年三月三十一日現在、八十名（一市四法人を含む）の方々から百五十八万千六百四十円の支援金をお寄せいただきました。皆様方のご厚意に感謝申し上げます。本年度該当者はいませんが、すべて向学心にあふれる寮生の奨学金として貸与させていただきます。

南豫奨学会の奨学金貸与は、本年度までに三十二人、総額五千六百八十万円の実績

を挙げました。しかし、奨学金貸与の基金としてはさらに充実させなければならない使命と考えております。つきましては、何かとご出費の多い折から、まことに恐縮至極に存じますが、本趣旨をご高察のうえ、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

奨学貸与金の基金となる年会費として、一口（普通会員一万円、特別会員＝南豫奨学会評議員・理事二万～三万円、法人 会員五万円）以上のご支援を賜れば幸甚に存じます。未来を担う人材の育成すなわち教育こそ郷土発展の基礎だと確信しています。

郵便振込口座番号 〇二五〇二二九六五三
名義 「南豫奨学会奨学金支援会」

編集後記

▼半世紀前、正月やお盆は飲食店が開いてないので、休みになるとすぐに愛媛に帰っていました。今は昼夜コンビニが営業しているし、親が「帰って来い」と電話をしても帰りがたらない寮生が結構います。

▼私たちの頃は「帰省することが親孝行だ」とも思っていました。かといって帰省しない今の寮生が「親不孝」とは言いません。交通の便は良くなり、帰ろうと思えばすぐにでも帰れます。時代の流れと思えば解決するのでしょうか。卒寮生が社会に旅立つこの時期に「いろいろな寮生がいたなあ」と思い起こします。

（戸梶）



平成30年度支援会 募金状況（平成31年3月31日現在）

	募金数	金額(円)
一般	2人	19,790
現・元保護者	20人	252,690
法人	3社	169,530
市	1市	50,000
O B	20人	223,550
評議員・審議員	19人	407,880
理事・監事・元役員	15人	458,200
合計	80(人・社・市)	1,581,640

※ 選定委員は評議員・審議員に含みます。
東京都の指導で郵便振込料を差し引きました。